



国見町応援大使 沢木順コンサート 2017

ミュージカル俳優で国見町応援大使の沢木順さんのコンサートが7月8日、観月台文化センターで開催されました。国見町で沢木さんのコンサートが開催されるのは今年で12回目。沢木さんは「セ・シボン」「オー・シャゼリゼ」「愛の賛歌」といったシャンソンの名曲や作曲家の父、八洲秀章さんの「あざみの歌」など約20曲を情感たっぷりに熱唱しました。演奏にはエレク トーン奏者の長谷川幹人さんを迎え、多彩な音色で観客を魅了。また、ステージには国見フラクラブのみなさんが特別出演し、フラダンスを披露して会場を盛り上げました。



「観客と一緒に歌う沢木さん（壇上左）
ました。アンコールを求め、満場の拍手に、沢木さんは『スーパースター』を披露して期待に応え、終始、会場を沸かせました。



国見町の元気を発信します！

結団式

小中学校の児童生徒10人からなる「国見ジュニア応援団」の結団式が7月3日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。

結団式では、団長の岡崎忠昭国見町教育委員会教育長が「県内外に国見町の良さを元気とともに届けましょう」と結団のあいさつを行い、太田久雄国見町長が「国見町のことをたくさ

ん勉強して、一緒にPRを頑張らしよう」と激励。その後、太田町長から佐藤善久さん（中1）に国見町旗が委託され、岡崎団長から寺島久美巴さん（小6）にユニフォームが授与されました。団員を代表して伊藤遥風さん（中1）が「団員の仲間と協力して、一人でも多くの人に国見の良さをPRしていきます」と決意を述べました。

【私たちがPRします！】

- 小島 瑠斗(国見小6年)
- 寺島久美巴()
- 佐藤 悠理()
- 小島 瑠華()
- 高野美々莉()
- 佐藤 善久(県北中1年)
- 佐藤 惺弥()
- 安藤 舞子()
- 内村 莉瑠()
- 伊藤 遥風()

ふるさと国見町を知る。大事に、誇りに思う。 国見ジュニア応援団



国見ジュニア応援団は、子どもたちが国見町の歴史、伝統文化、産業、まちづくりを学び、震災からの復興に向けた町の取り組みを、国見の魅力・元気にとともに全国に発信していきます。

平泉町訪問

国見ジュニア応援団は結団後初めての体験活動として、7月15日と16日に岩手県平泉町を訪問しました。

1日目 国見のモモをPR

平泉文化遺産センターで行われた平泉町児童との対面式では、「国見学」を通じて団員が自作したパンフレットで国見特産のモモをPRし、平泉町児童と交流しました。また、中尊寺と今年4月にオープンした道の駅平泉を見学した後、「水かけ神輿」宵祭り会場の観自在王院で、国見のモモのPR活動を体験。モモ生産者の黒田嬢さんも同行し、2日間で用意したモモ約100箱は完売となりました。

2日目 水かけ神輿に参加

「水かけ神輿」はその名のとおり、沿道からバケツに入れた清め水を神輿めが

祝 来場者50万人達成



5月3日にグランドオープンした道の駅国見あつかしの郷の来場者が7月15日、50万人を達成し、記念セレモニーが行われました。

記念すべき50万人目は、宮城県白石市の佐藤さん一家。太田久雄国見町長が道の駅の商品券2万円と国見産のモモ「紅国見」を記念品として贈りました。記念品を受け取った佐藤さんは、「前から気になっていた道の駅です。今日、初めて来て表彰とはびっくりです」と驚いた様子でしたが、「今日はモモを楽しみに来ましたが、新鮮な野菜や果物、お酒も豊富なので、また来たいです」と語ってくれました。

また、49万9999人目の新田さん夫妻（猪苗代市）と50万1人目の水戸祥子さん（宮城県柴田町）にもそれぞれ記念品が手渡されました。

オープン以来、県内外から多くの方に来場いただいている「道の駅国見あつかしの郷」。今後もより多くの人に愛される道の駅を目指し、着実に歩みを進めます。



水かけ神輿に参加する国見ジュニア応援団